



平成**29**年**3**月**28**日(火)例会(第2667回)報告(晴)No.2495

出席率……31/41 73.81% 第2665回補正出席率……36/42 85.71%

**欠席者** 柏木、川田、木村、友森、中田、浜田(貴)、堀田、松本(勝)、三輪、村山、渡辺(昇)

**メイクアップ(家庭集会3/29~31)** 25名(Rの友委)

**岡田(G定例会)** 10名(米子中央RC) 北國

**出席免除** 足立、川端、坂本、庄司、松本(雄)、渡邊(将)

◆**会長時間** 松本 正 会長

ここ数日のニュースでは、栃木県で登山訓練中の高校生が雪崩に巻き込まれて8人が亡くなるという痛ましい事故がありました。また、私たちの地域では本日より美保基地に新型輸送機C2が配備されました。21日には、公示地価が発表され、大都市は上昇、地方は下落と格差が広がりました。鳥取県は19年連続で下落。境港市は大正町だけが上昇、他の地区は下落でした。個人的には地価が下落するとありがたいと思っています。固定資産税、相続税の負担が減るためです。特に相続税は基礎控除額が減った為負担が大きくなっています。ただ景気の面から言えば上昇した方が良くと思います。人口減少が進み、交通や買い物等不便な地域はますます下落するでしょう。住みやすい便利な街、地域を作ることも大切です。

明日29日から4月1日まで家庭集会です。しっかり楽しんで下さい。

◆**幹事報告** 細田 淑人 幹事

◎庄司G事務所より「境港市より防犯カメラ設置のお知らせ」「RI会長賞資料」「アトランタ国際大会地区ナイトのご案内」

◎池上GE事務所より「次期地区会員増強・R財団合同セミナーのご案内」◎RIより「国際大会代議員信任状書式」◎第2580地区より「R国際囲碁大会」「国際大会地区ナイトのご案内」◎「だいせん第622号」「社保とっとり3月号」「はまっ子第21号」が届く ◎4月レート1\$=116円

◆**例会変更**(受付=ビジター受付、定刻・米子全日空H)

☆米子RC 4/28(金)休会(定款8条) 受付なし  
☆米子南RC 4/10(月)4/9花見例会 受付あり  
/24(月)休会(定款8条) 受付なし

◆**4月行事予定**(母子の健康月間)

4/ 4(火) 4月定例理事会  
15(土) 事務局員研修会(倉敷アイビースクエア)  
16(日) 地区研修・協議会(倉敷市芸文館)  
18(火) 移動例会(12:30~ 境港市民会館)

**3月創立祝**

3日 北國 恵久  
8日 中田 耕治  
25日 田中 幸雄  
28日 高浪 秀紀  
30日 松本 雄次



松本勝志 各会員 北國会員 田中会員 高浪会員

— **スマイルBOX** —

◎創立祝 小徳、高浪、田中、北國 ◎結婚祝 浜田(一) ◎遠藤様をお迎えして! 北國 ◎明日からの家庭集会に御参加ください 井田 ◎谷田君、お久しぶりです。小坂 ◎スマイルに協力 酒井(博)、松本(正)、真野

— **プログラム「児童相談所で見えてきたこと」** —

米子児童相談所 相談課係長 遠藤正裕 氏

私は米子児童相談所に勤務していますが、昨年まで13年間教員をしていました。外からでは分からなかった「児童相談所」について、内部で勤務して初めて見えてきたことがありますので今日はそのお話を致します。



結論から述べますと「仕組みを知ることの強み」ということと、「機関連携の大切さ」の2点が見えてきたということです。

児童相談所では養護相談をはじめ、障がい相談、非行相談、性格行動や不登校等に関する育成相談などさまざまな相談があります。相談は、当事者のみならず周囲の人から寄せられることもあります。何れにせよ、相談を受けると問題の所在を探ることになりますが、児童相談所は情報を持っていないため、速やかに社会調査や心理診断を実施します。必要な場合には児童を一時保護し、その間に子どもの生活の様子を観察して行動診断したり、医師による医学診察を受けたりしながらより確かな見立てを行います。この調査・診断により、子どもにとっての最善の利益(子どもにとって何が一番良いか)を探り出し、必要に応じて児童と親権者の同意を得た上で措置します。同意が得られない場合は裁判所の判断に委ねることもありますが、子どもの見立てや社会の仕組みについてよく理解していなければお互いに齟齬が生じてしまうこともあるので、学校、家族、関係機関と連携し、子どもにとっての最善の利益が保障されるように努めています。

二つ目の機関連携の大切さは、ロータリークラブの皆様が日頃から大事にされていることに通じます。前述のとおり児童相談所には情報がないので、関連機関との連携が重要になってきます。アセスメントの考え方で、情報が多ければ多いほどより確かな見立てができると考えています。

また、教育、医療、福祉、司法など様々な角度から見てアセスメントすることで死角を減らしていくことにもなります。円滑な意思疎通を図り、最大利益を実現するための方策として、関係機関との関係者会議、研修、懇親会も頻繁に行っています。

最後に、児童虐待の通告件数は米子でも年150件程あります。身近に潜む問題として皆様にも意に留めていただき、未来ある子どもたちのためにお力添えいただけたら幸いです。

**今回(4月4日)プログラム**

「2016年規定審議会最新情報」

国際ロータリー第2690地区 庄司尚史ガバナー

**次回(4月11日)プログラム**

「地区月信・ホームページについて」

地区HP・月信出版委員会 門永武志 委員長